

取組の主体			取組の対象				地域の国際化			特色ある取組				
JET-ALT	任用団体	CIR等との連携	児童・生徒 未就学児 小学 中学 高校				教員	住民	異文化理解	地域活性化	多文化共生	長期休業中の取組	配置の工夫	デジタルツールの活用

## No. 5 JET-ALTとCIRの協働による異文化理解講座

実施時期：令和5年1月

任用団体名：奈良県

### 取組のポイント

- 高等学校と市が連携し、高等学校配置JET-ALTと市のCIRが、希望する生徒を対象に交流活動を実施。
- 一方的な講義ではなく、JET-ALT、CIRが生徒と意見交換するなど双方向的な交流を実現。

### 任用団体の基本情報

人口：1,298,946人

※令和5年4月1日現在

JETプログラム参加者の人数：(ALT) 50人 (CIR) 7人 (SEA) 0人

学校数：高等学校35校、中等教育学校2校、特別支援学校10校

### 取組の背景・課題

県立畝傍（うねび）高等学校は、令和元年度から令和3年度まで「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」に係る研究開発を行い、令和4年度からは「研究開発学校」に指定され、新教科「グローバル探究」を設定し、研究開発を行っている。

畝傍高等学校に配置されているJET-ALTのほか、他校から複数のJET-ALTの訪問日を設け、外国語の授業では、少人数制のティーム・ティーチングを通じて、生徒の発信力の強化にも取り組んでいる。

畝傍高等学校が橿原市と連携して異文化理解講座を企画し、JET-ALTとCIRが講師を務めた。講座を通して、生徒が世界に目を向けるとともに、課題意識をもち、それについて意見交換ができるような機会をもつことを目的とした。

### 取組の内容

異文化理解講座は以下の内容で実施した。

- 畝傍高等学校が、コンソーシアム機関としての橿原市と、前述の事業等に関わって様々な交流活動を行う中で、今回の取組が企画された。主なやりとりは、橿原市の観光政策課の担当者、畝傍高等学校の担当者がメールで行い、ALTとCIRの双方のスケジュールを確認しながら、効果的な時期に開催できるよう調整を行った。また、橿原市の担当者には、普段から生徒の課題研究発表会に参加いただいていることもあり、そういった機会を最大限利用して、緊密に連携することを心がけた。
- 令和5年1月26日（木）の放課後、1時間程度で開催した。

## 取組の内容（続き）

- 対象は畝傍高等学校1・2年生の希望生徒。参加者数は30人程度であった。
- 初めに、JET-ALT（アメリカ出身）とCIR（カナダ出身）がそれぞれ自己紹介を兼ねて、自国の文化や教育、税制度などの社会制度、多様な性などについて話をした。
- JET-ALTとCIRは、普段の勤務場所は異なるが、日頃からよくコミュニケーションをとっており、企画や準備をスムーズに行うことができた。
- JET-ALTとCIRが日本で働くことになった経緯や、日本と自国との文化の違い、日本に住んで働いてみて感じたこと、戸惑ったことなどを話し、異文化で生活するとはどういうことかを伝えた。
- その後、生徒からの質問を受けたり、英語で意見交換を行ったりしながら、文化・価値観の違いや世界における様々な課題に目を向けることができるようにした。
- JET-ALTとCIRが自身の経験を交えて、海外勤務など世界で活躍することを目指す生徒に対するアドバイスも行い、生徒が将来実際に海外で生活したり働いたりすることをイメージできるようにした。
- JET-ALTやCIRと個別に話したい生徒には、講座の終了後、1対1でゆっくり話すことができる場を設けた。

## 取組の成果・今後の展望

畝傍高等学校では、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」、「研究開発学校」に係る研究開発をきっかけに、様々な国際交流プログラムやイベントを企画し、生徒に世界における課題に目を向けさせ、その解決に向けて主体的に取り組む姿勢を育成してきた。

今回の講座はその取組の一つであるが、普段から外国語の授業においても発信力の強化に重点を置いており、講座の中でも積極的に質問したり意見交流したりする姿が見られた。中には、全体の場ではなかなか発言できない生徒もいるが、1対1で話す機会を通して自信をつけ、全体の場でも自分の意見を言える力を養っていくことができると考えている。

### 問合せ先

担当部署名：奈良県立教育研究所 教育企画部 研究推進係

T E L : 0744-33-8903

M A I L : [altsupport@office.pref.nara.lg.jp](mailto:altsupport@office.pref.nara.lg.jp)

U R L : <https://www.e-net.nara.jp>

